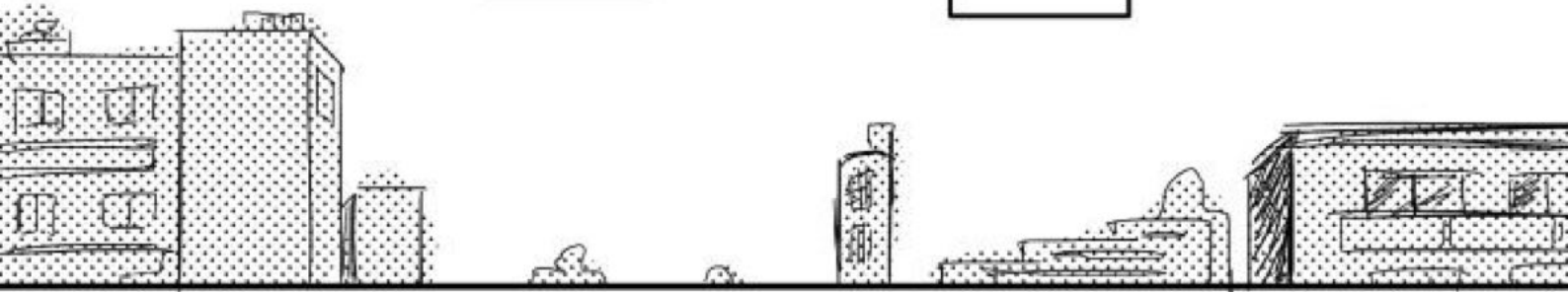


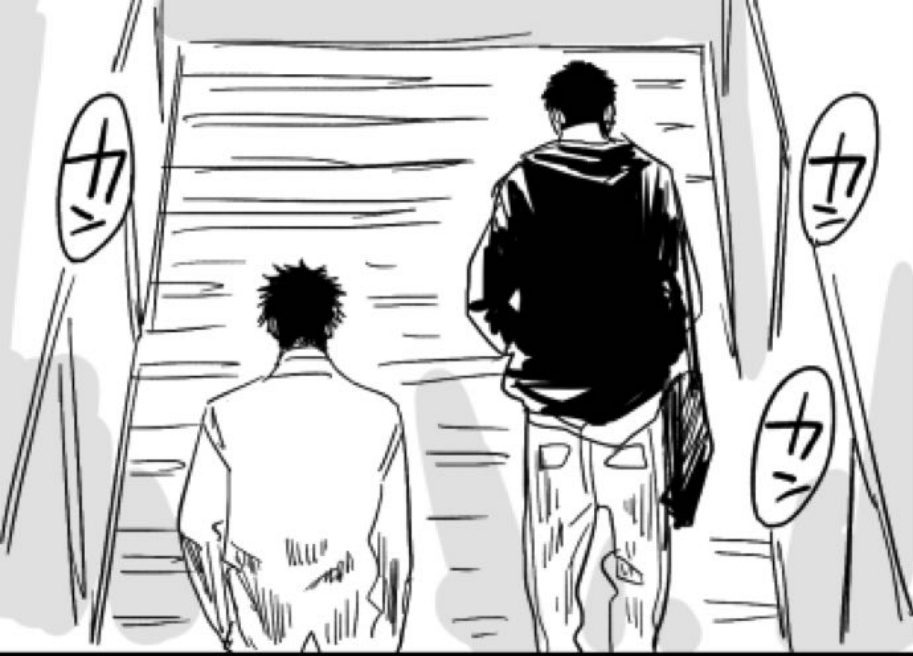


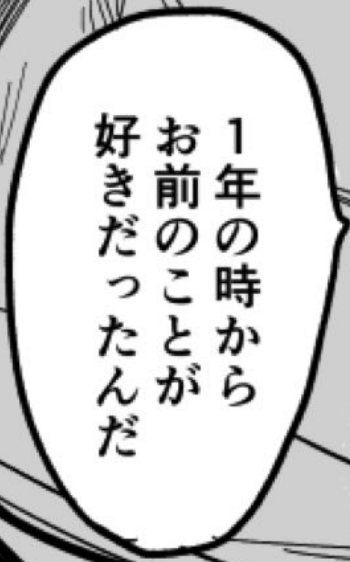
木下くろ漫画

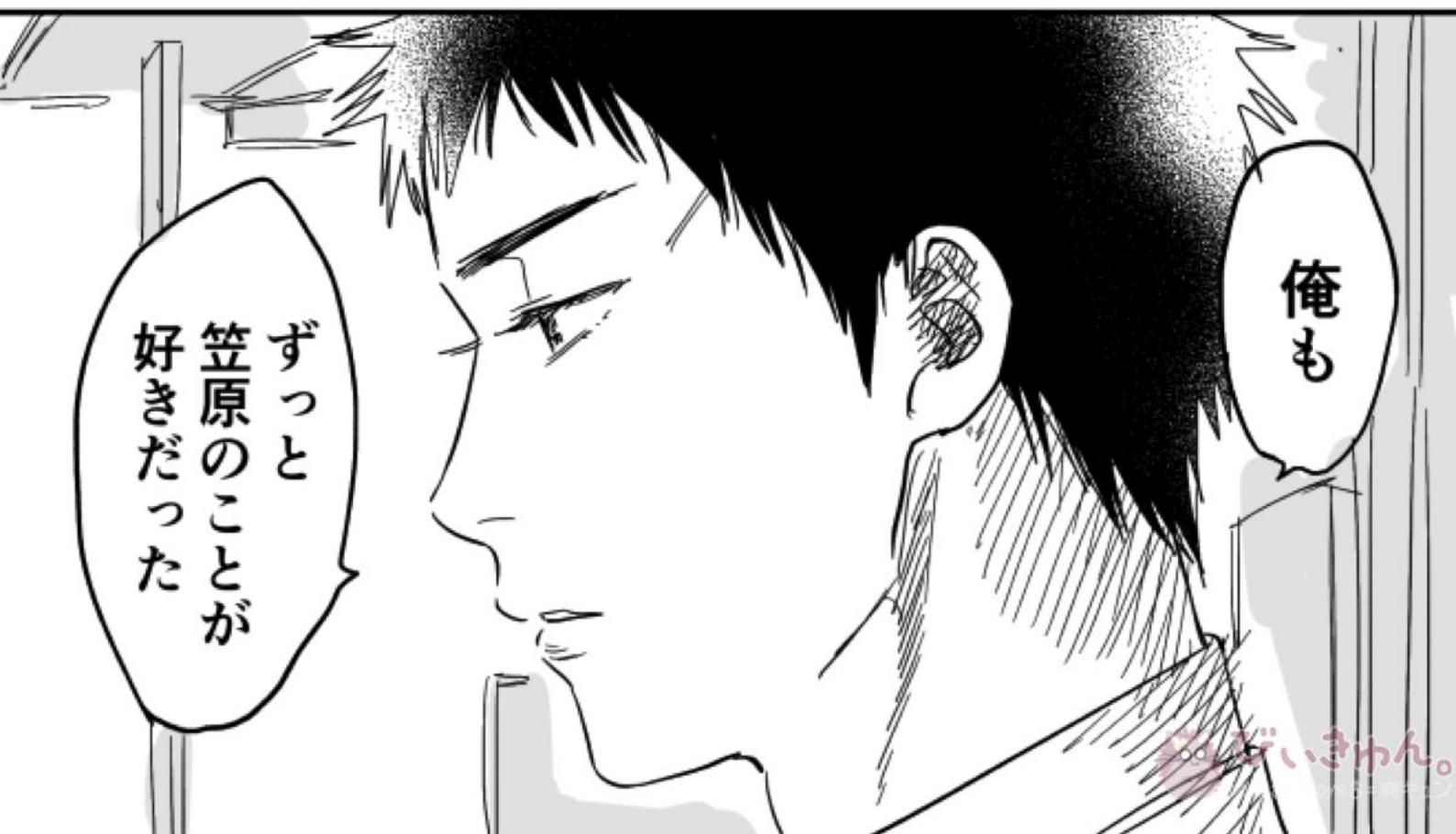
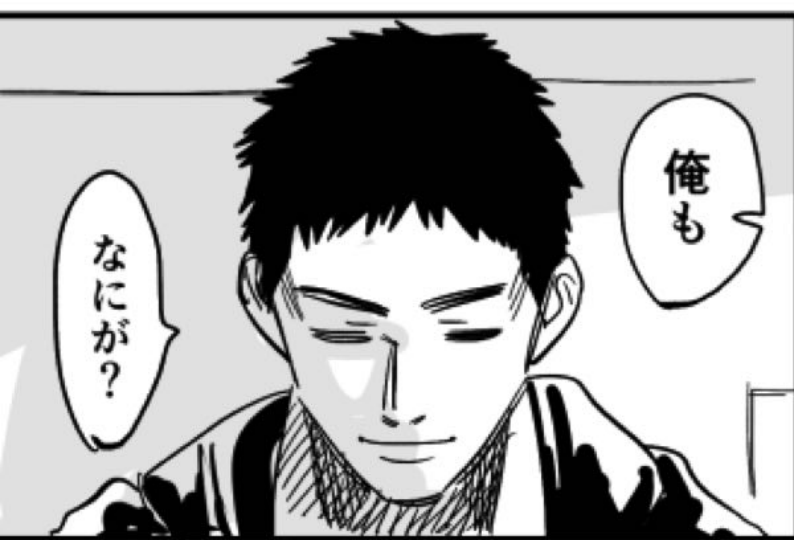
人生で初めての
告白をしたのは

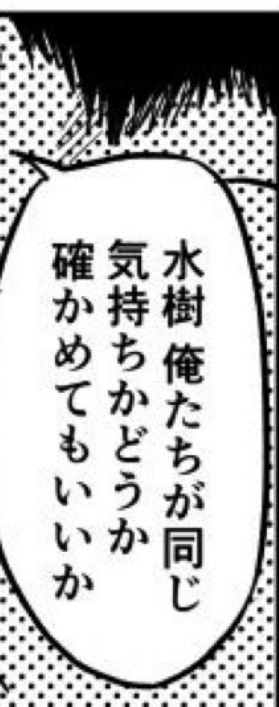
別れの日の
朝だった

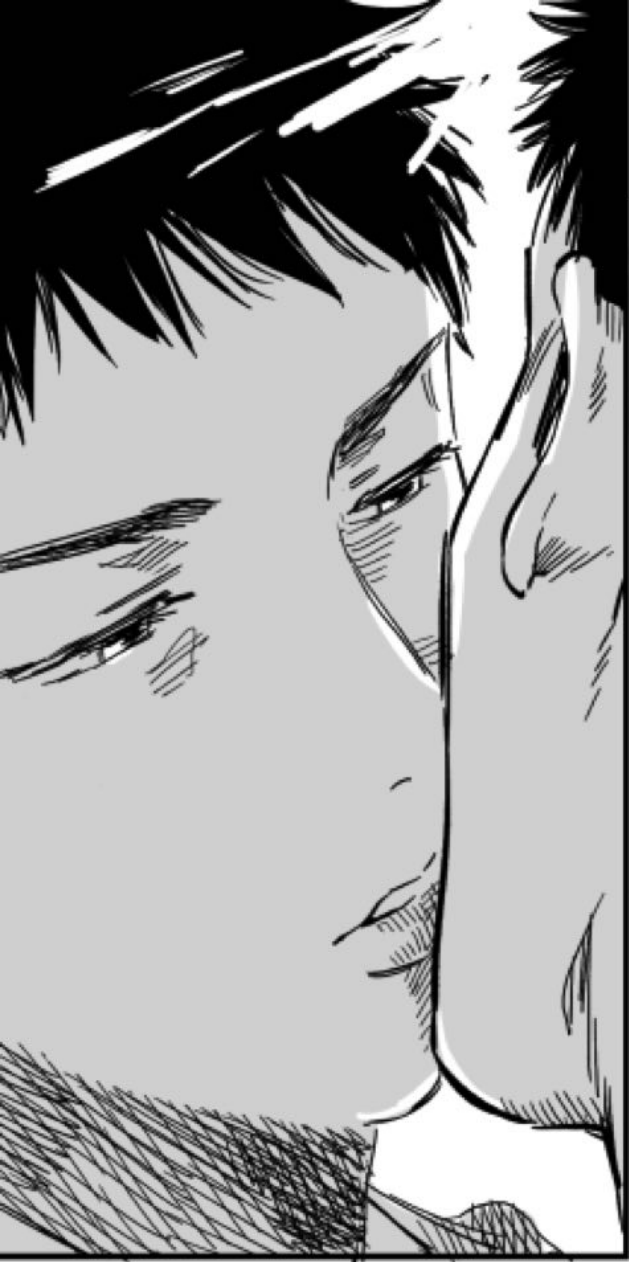


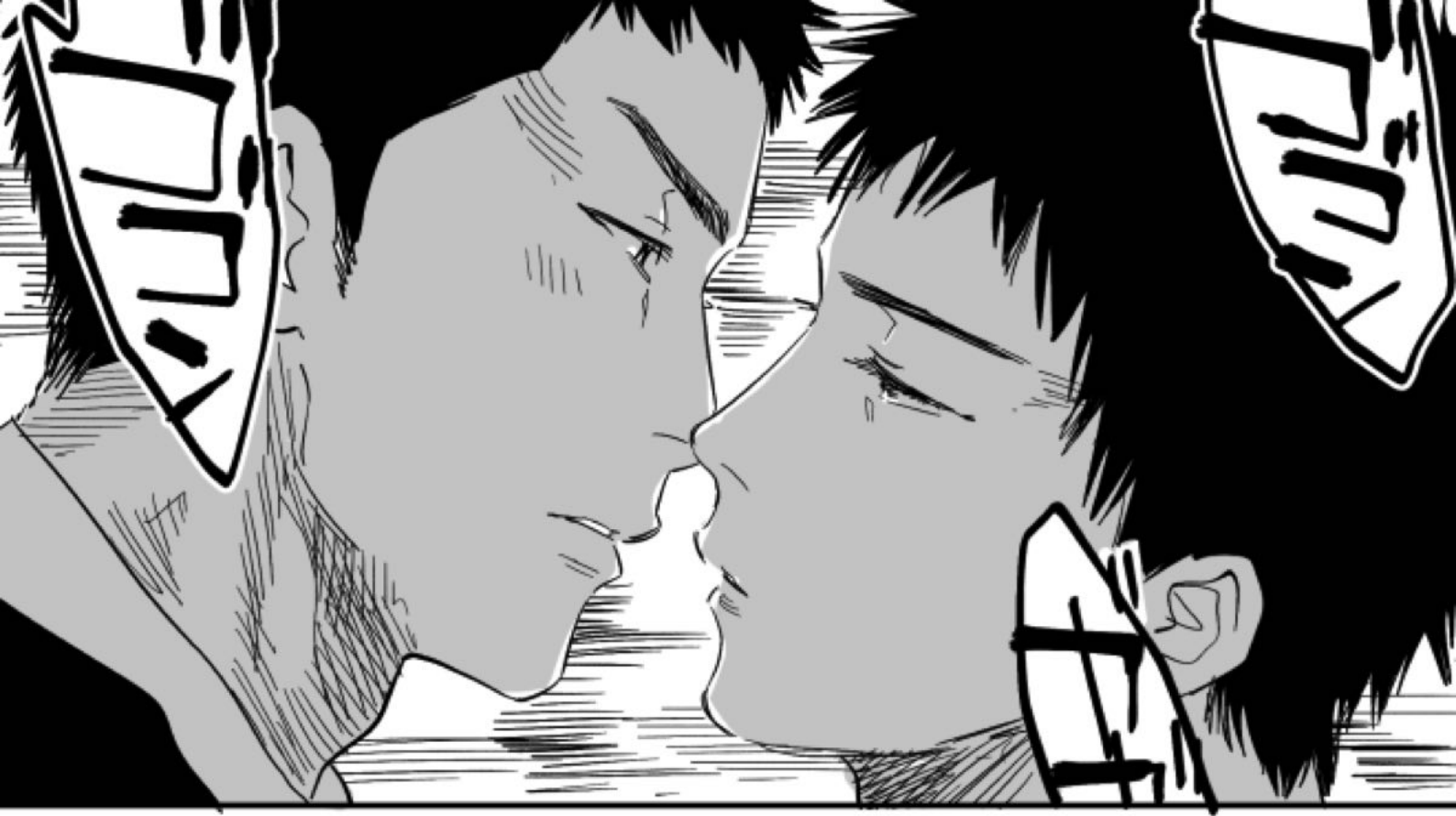








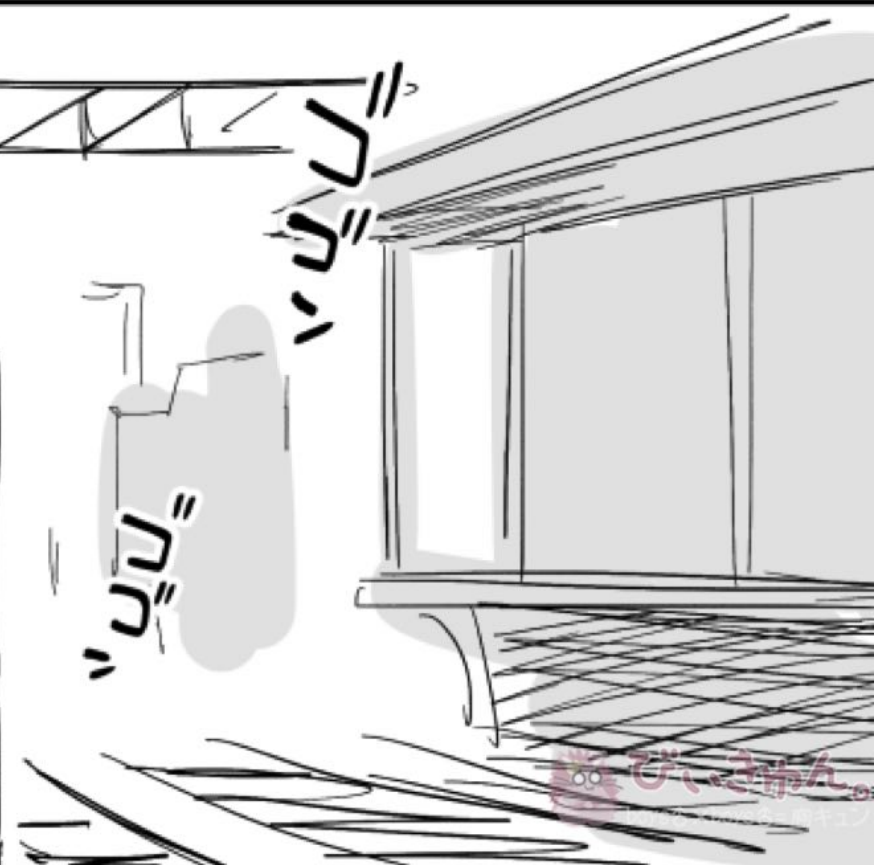
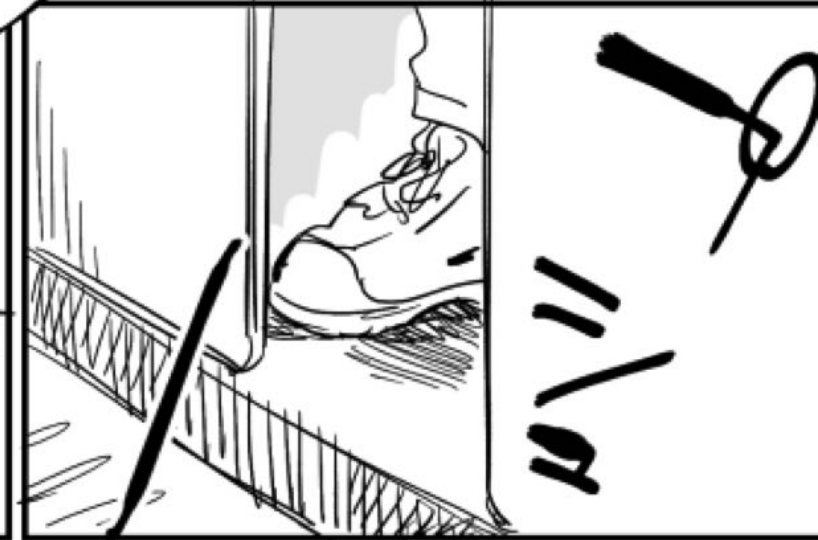








その時は……





俺は教員の免許をとる

そしてさらに
3年後



それから
2年後の夏

大学1年の時
祖母が自宅で
息を引き取った



大学を卒業して
東京で生活を
初めようと

5年ぶりに
むこうへ戻る
ことにした



1週間前
水樹へ送った
メール……

返信なし

ガ
ク……



TO: 水樹
久留み

突然ごめん
来週の土曜東京に
行くんだけど…
会えないかな？
考えてもらえると
うれしい

笠原





水樹は……

いじやダメかもな……



もう俺のことなんて
思い出さないかも
しれない

プロのサッカー
選手になって

ますます
女の子に
モテるだろう



自信がない……

あれから
5年も経って
るんだ



イケメン

イケメン

イケメン

女の子に興味が
なかったとしても

水樹のまわりは
カッコよくて
サッカーがうまい
奴らばかりだから



水樹が元気で
幸せなら

それでもいい……

俺は……



水樹の気持ち
が変わって
いたとしても
当然の年月だ



笠原



え？



東京はいつでも
混んでるなあ……

えーと
どっちへ向かえば
いいんだっけ……





新幹線のなかで
言い訳のように
並べていた

水樹が幸せなら
それでいい
……なんて言葉

そんな綺麗ごと
なんて

俺が恋した
時のままの

子供のよう
綺麗な

水樹の瞳を
見た瞬間に

笠は……





...おかえり

キコ...



おかえり
笠原

キコ...



ただいま

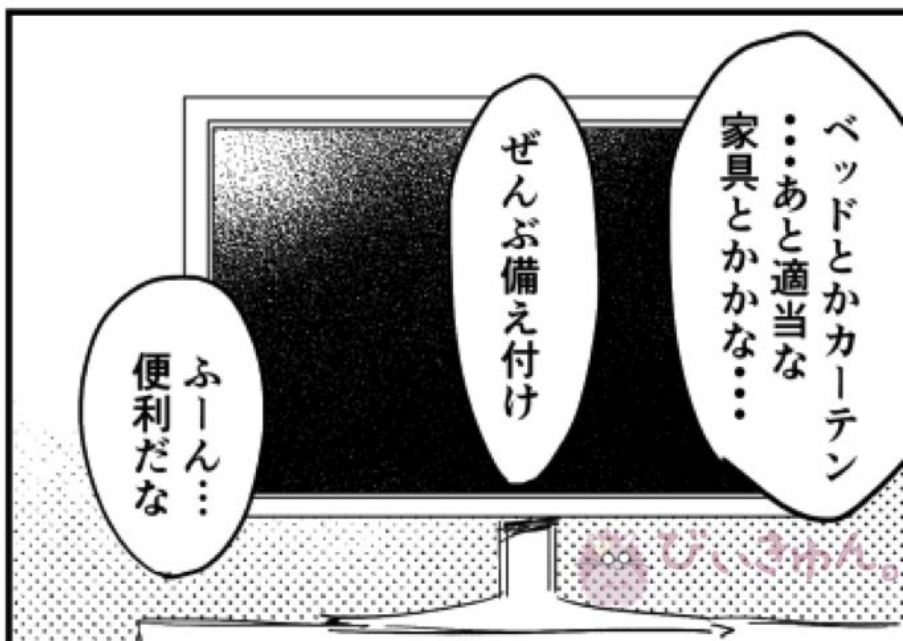
ただいま
水樹...

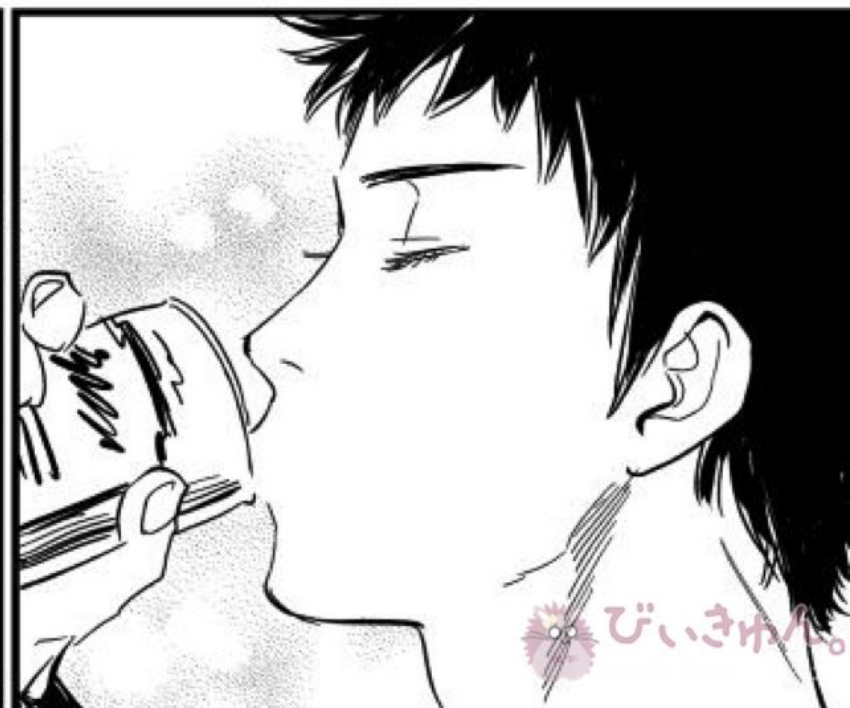
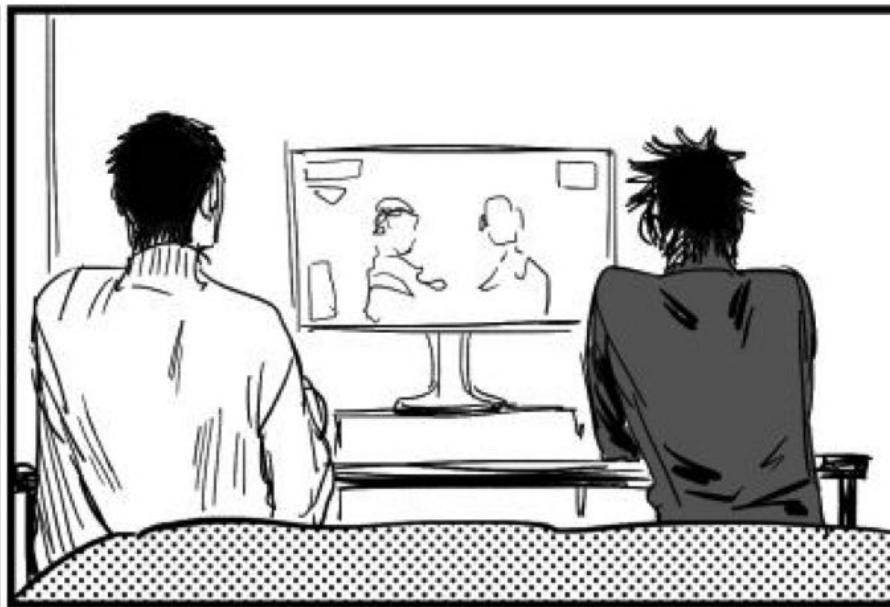






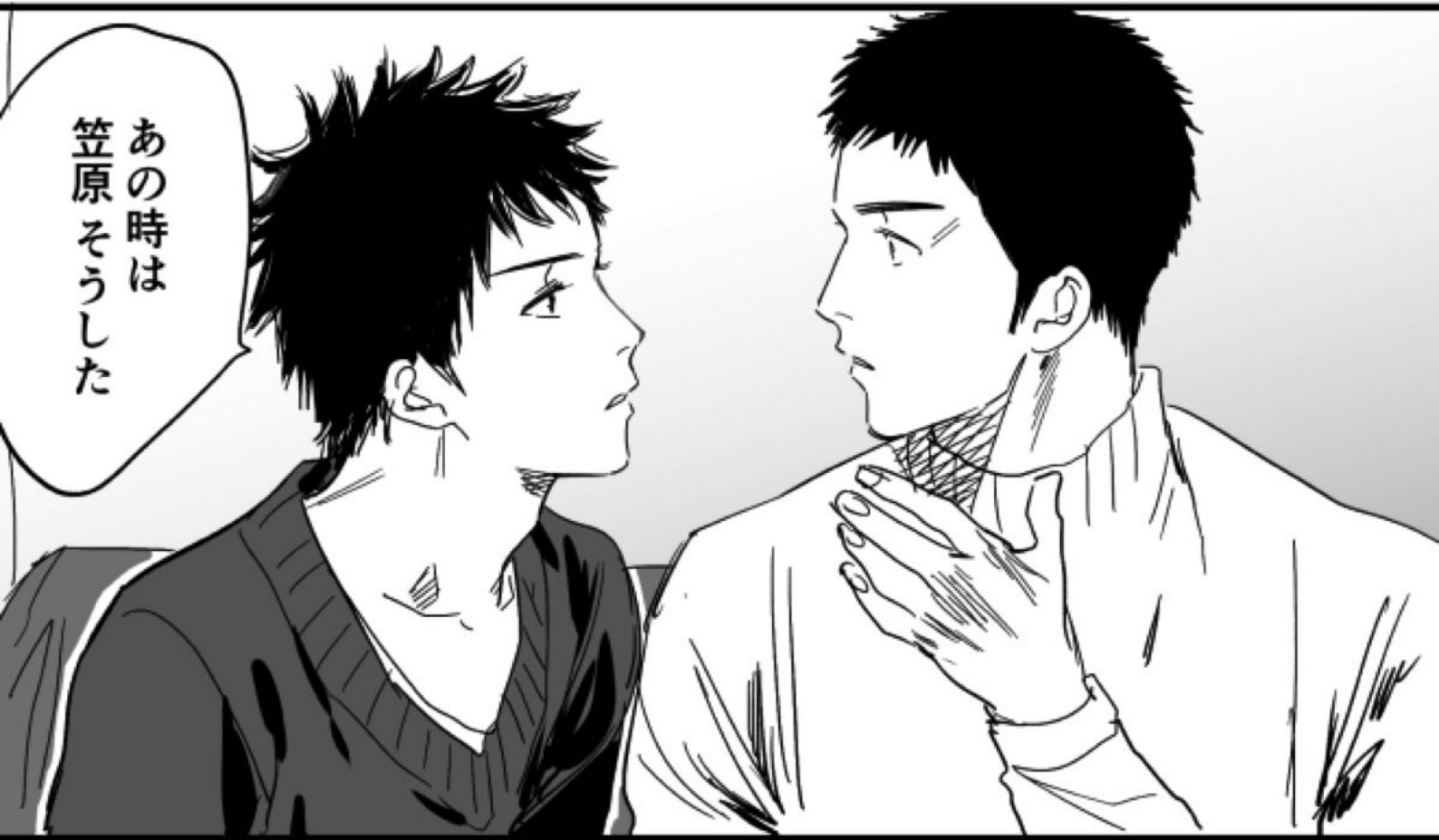


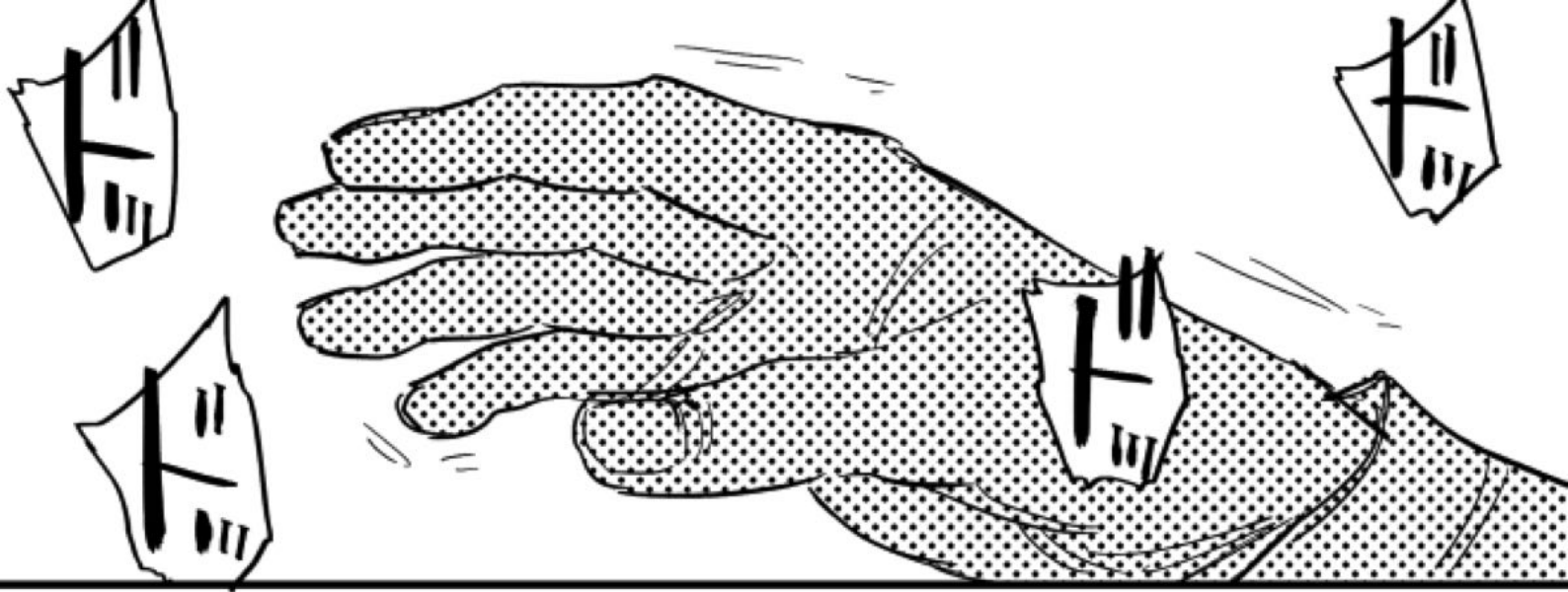




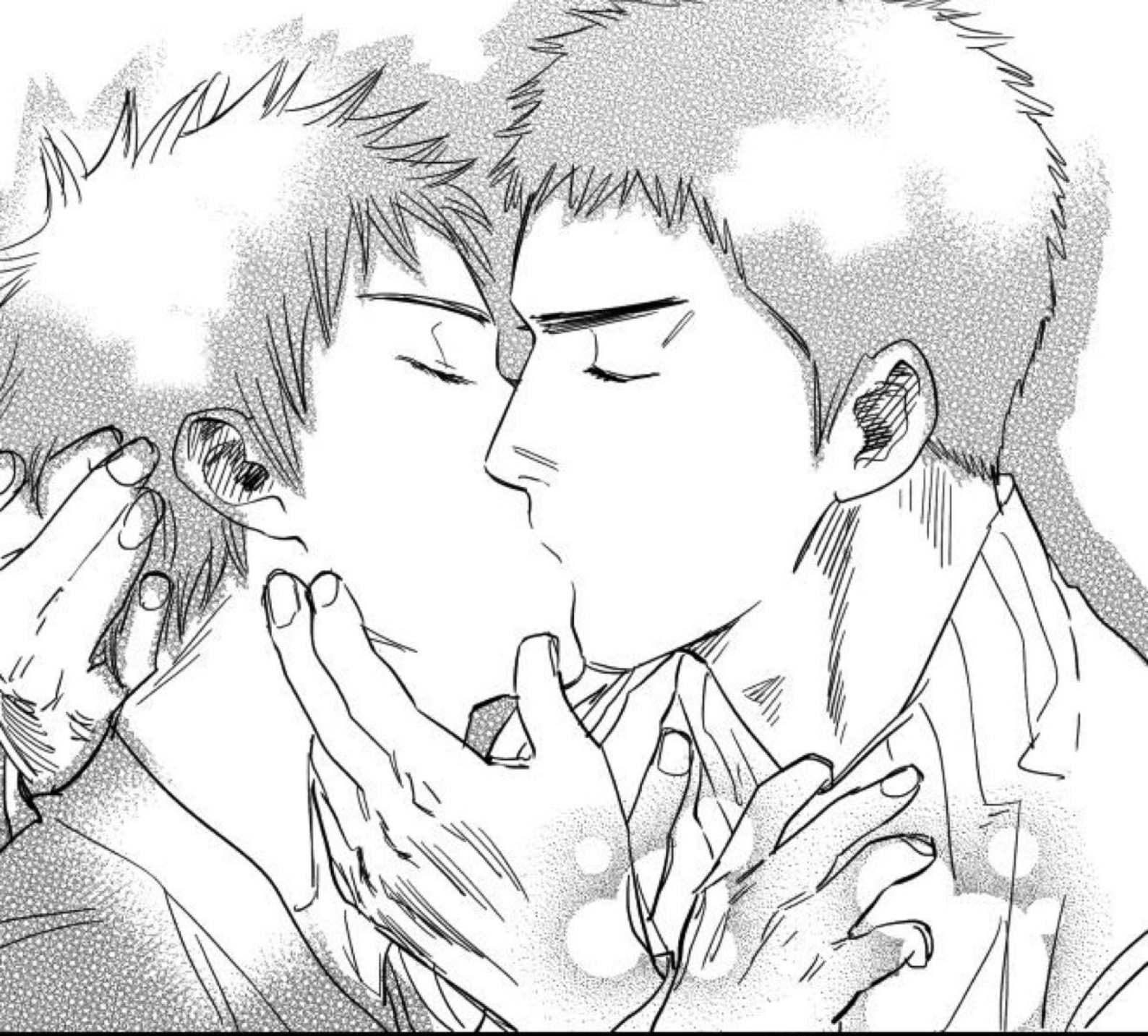


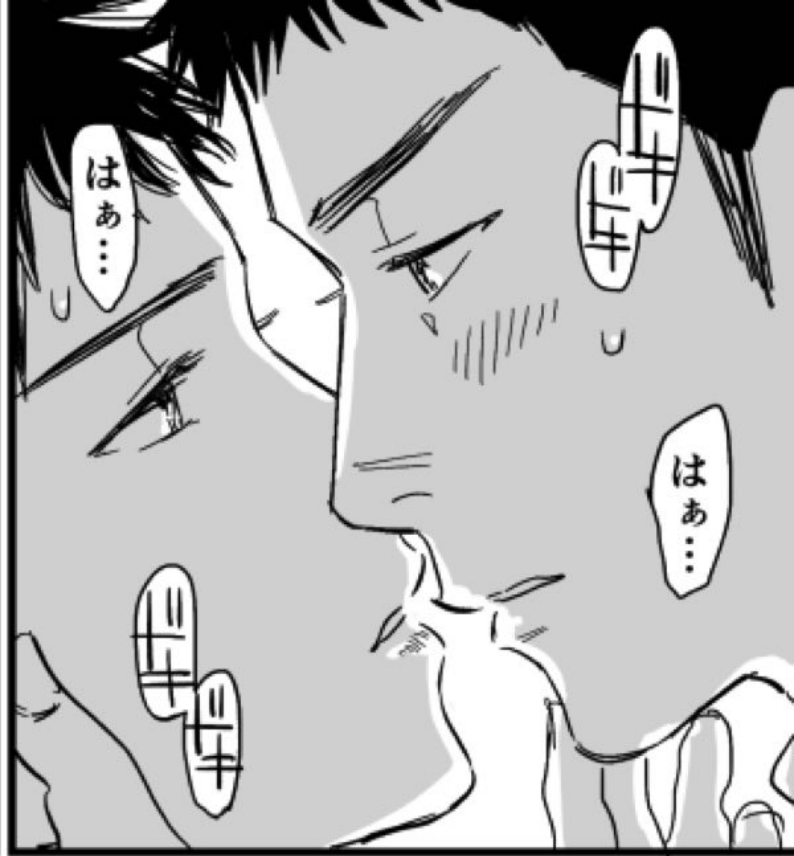






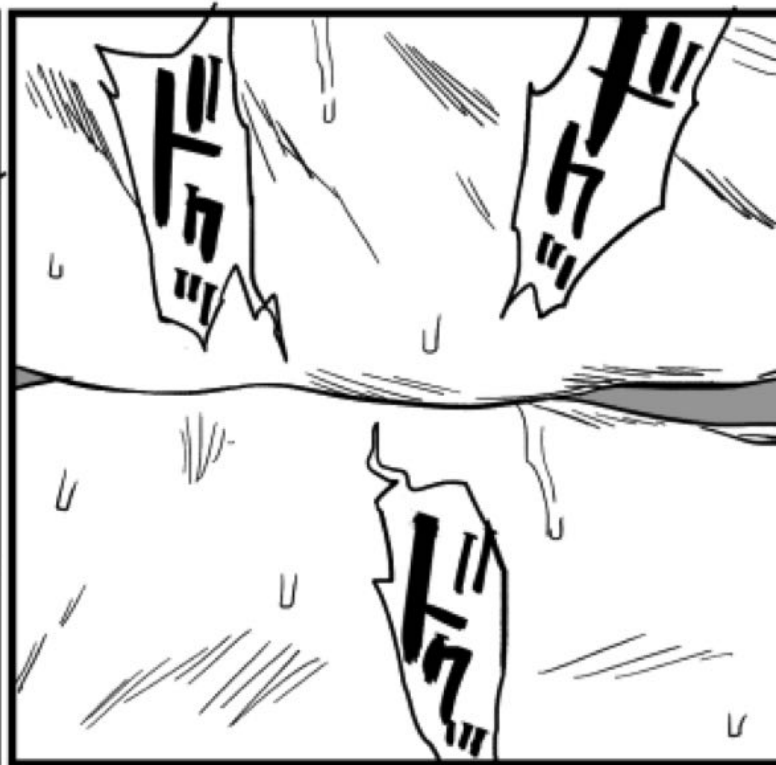
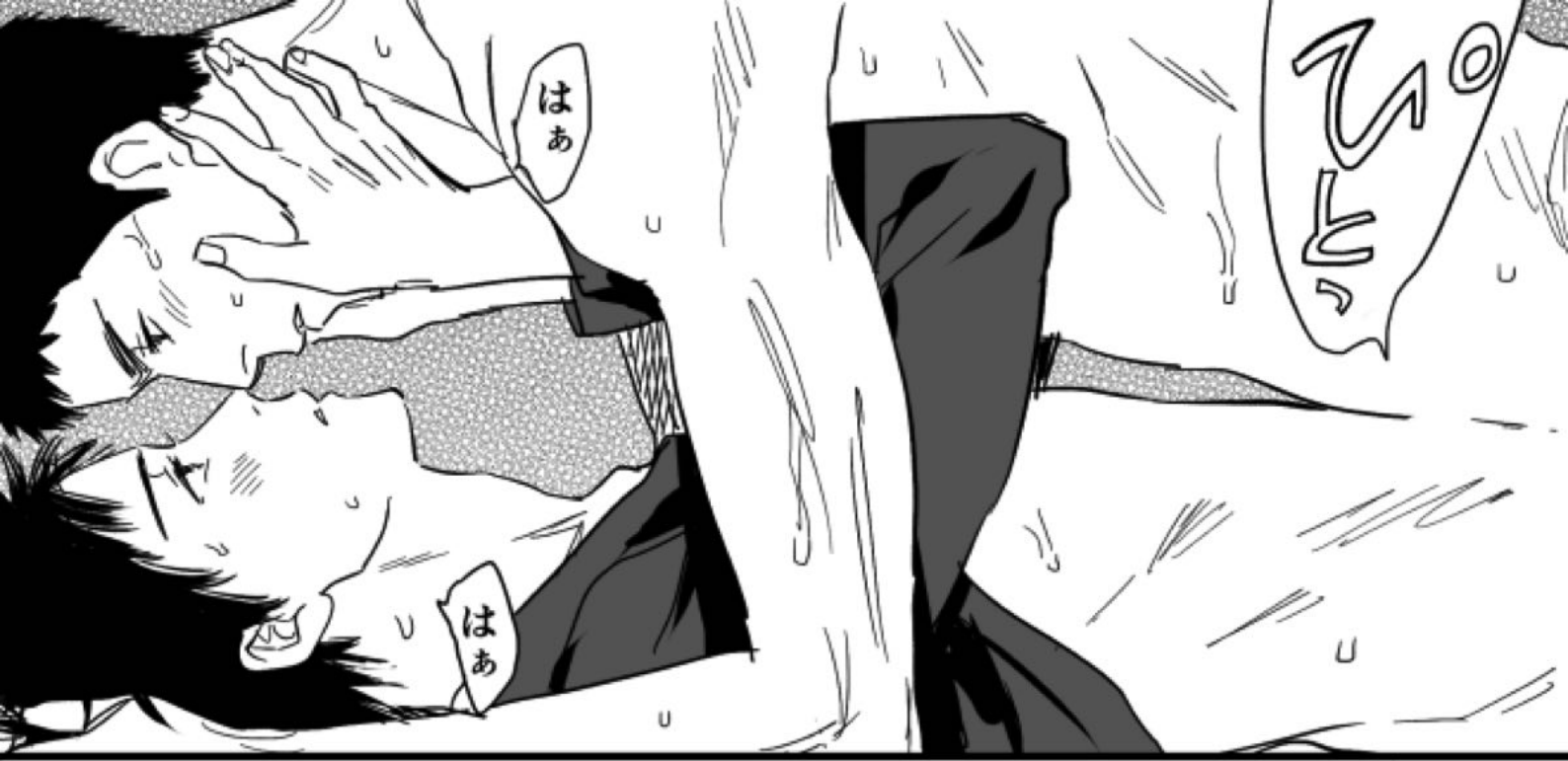


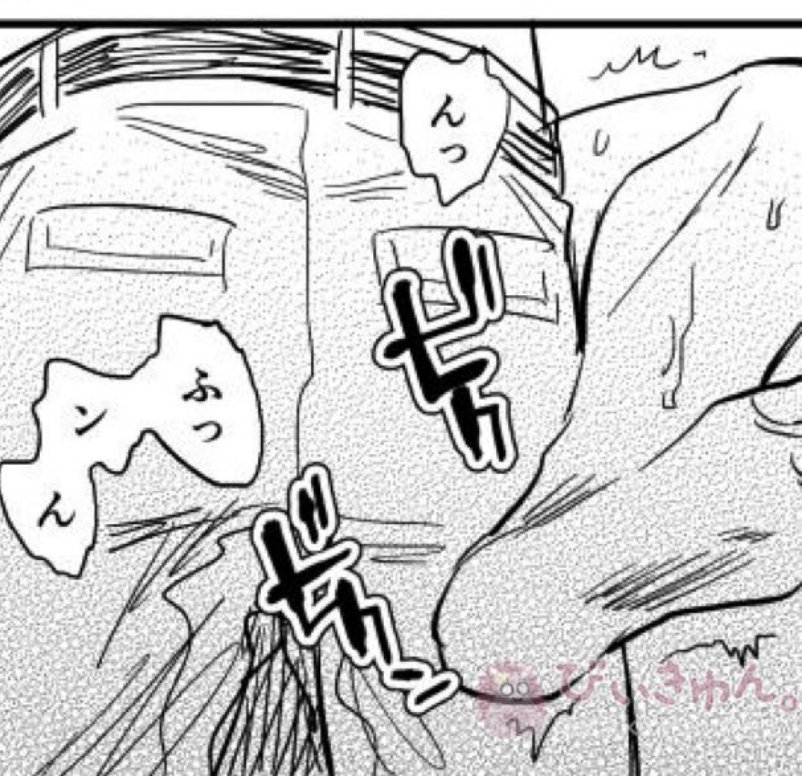
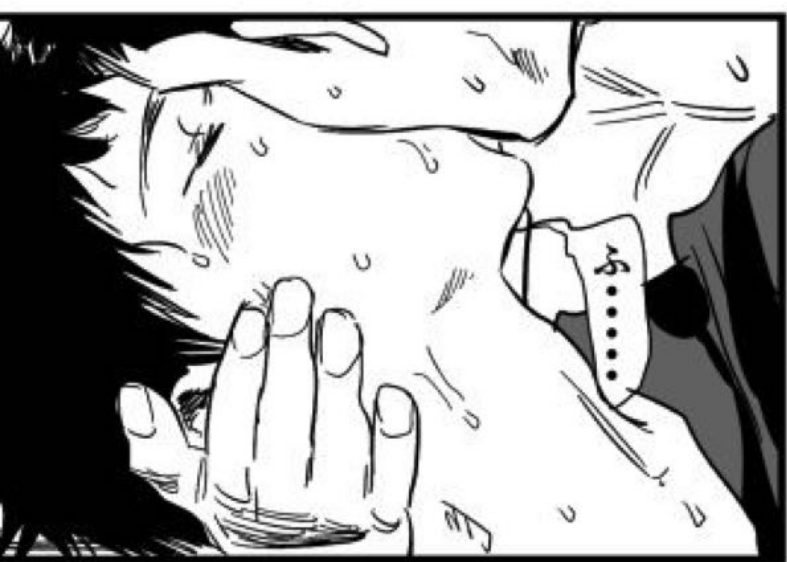


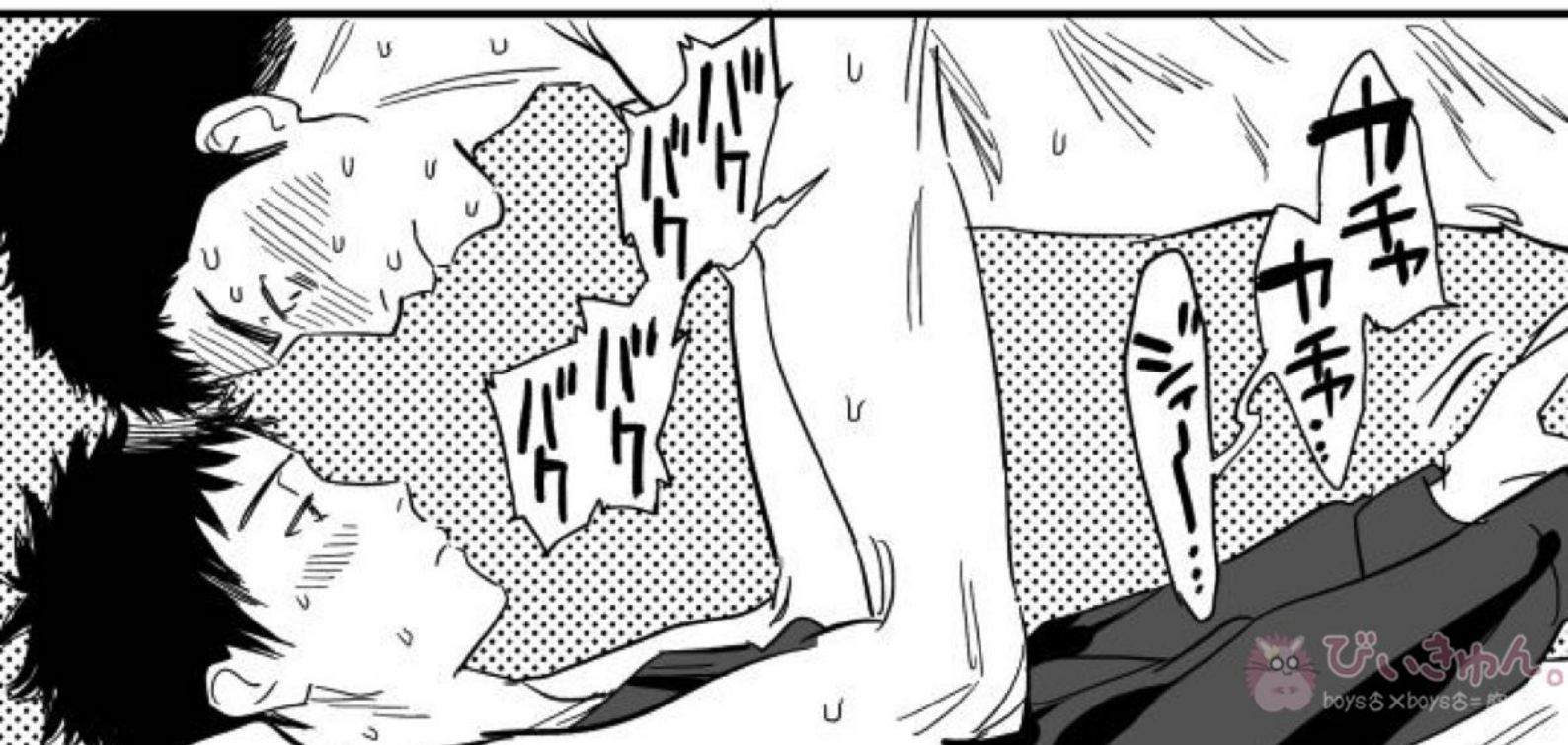
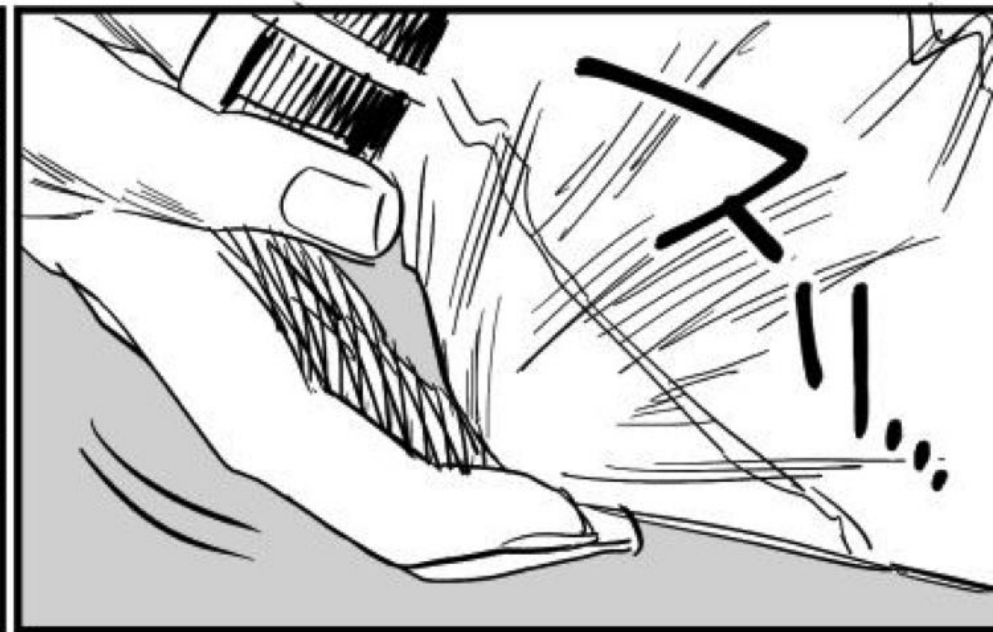


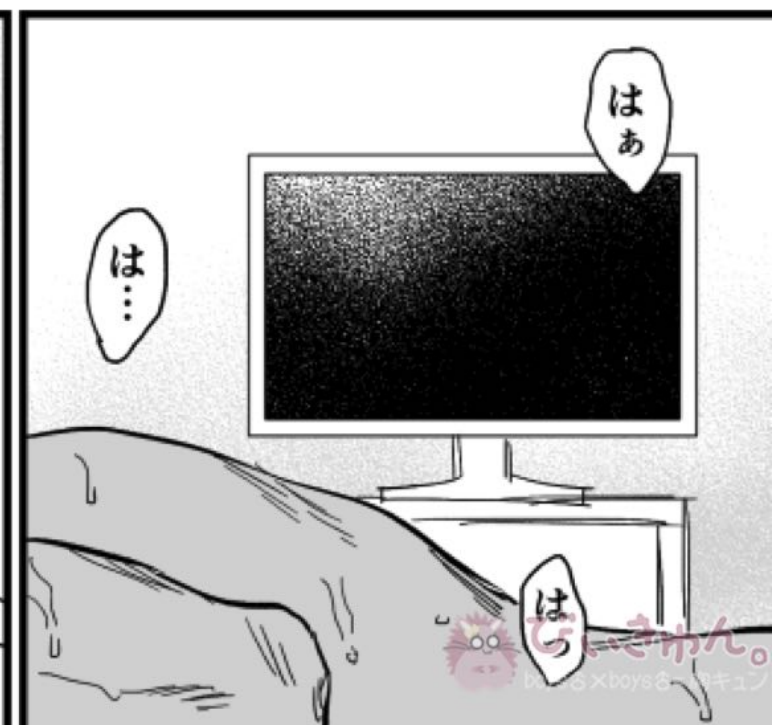




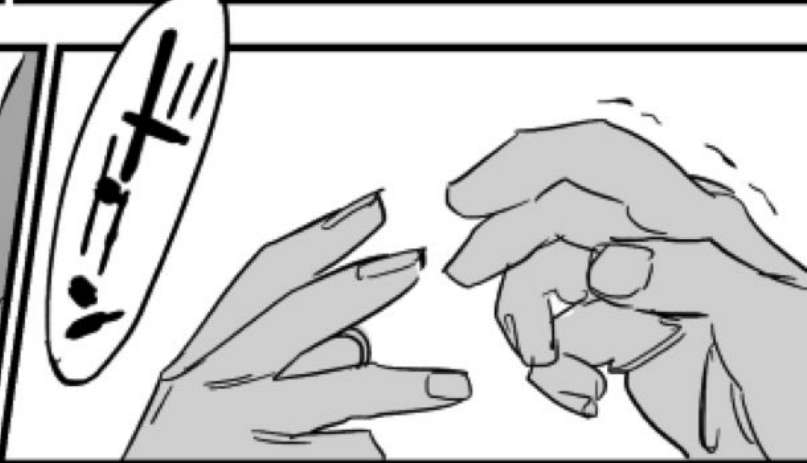








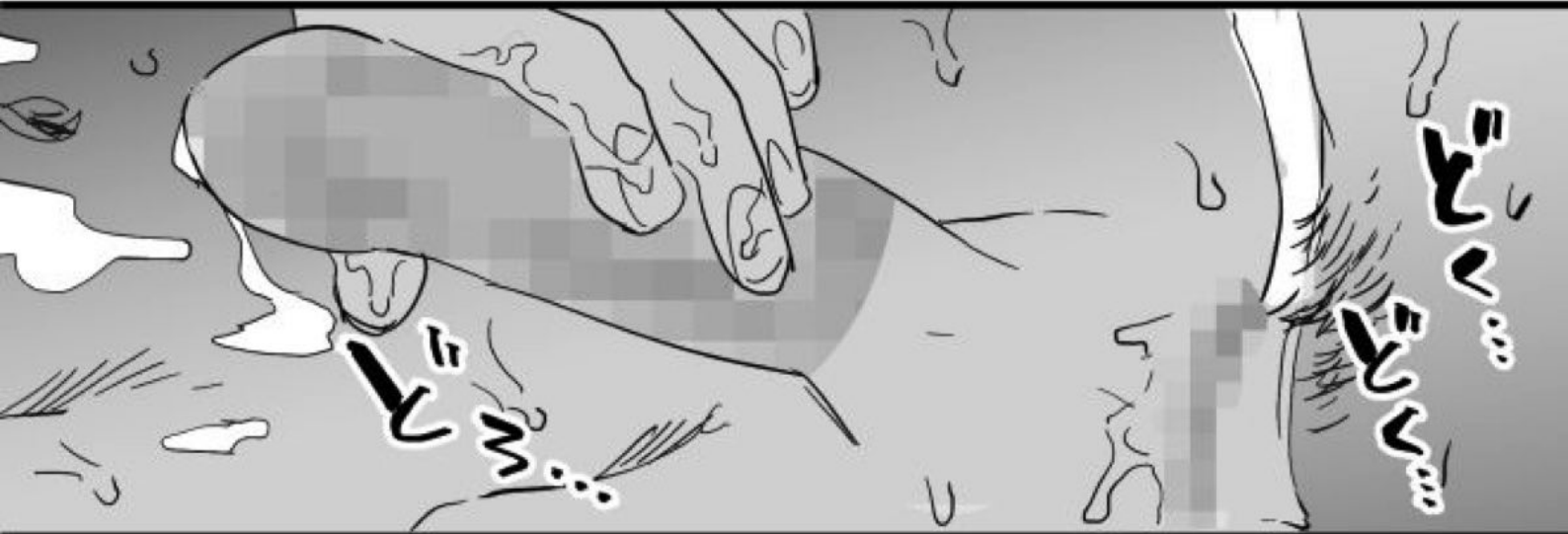














会いたかった

水樹



スキ♡

水樹

うっ



うっ?

...



うん

俺も...

ひいちゃん









さっき...より
熱くて...すごいよ...

は...

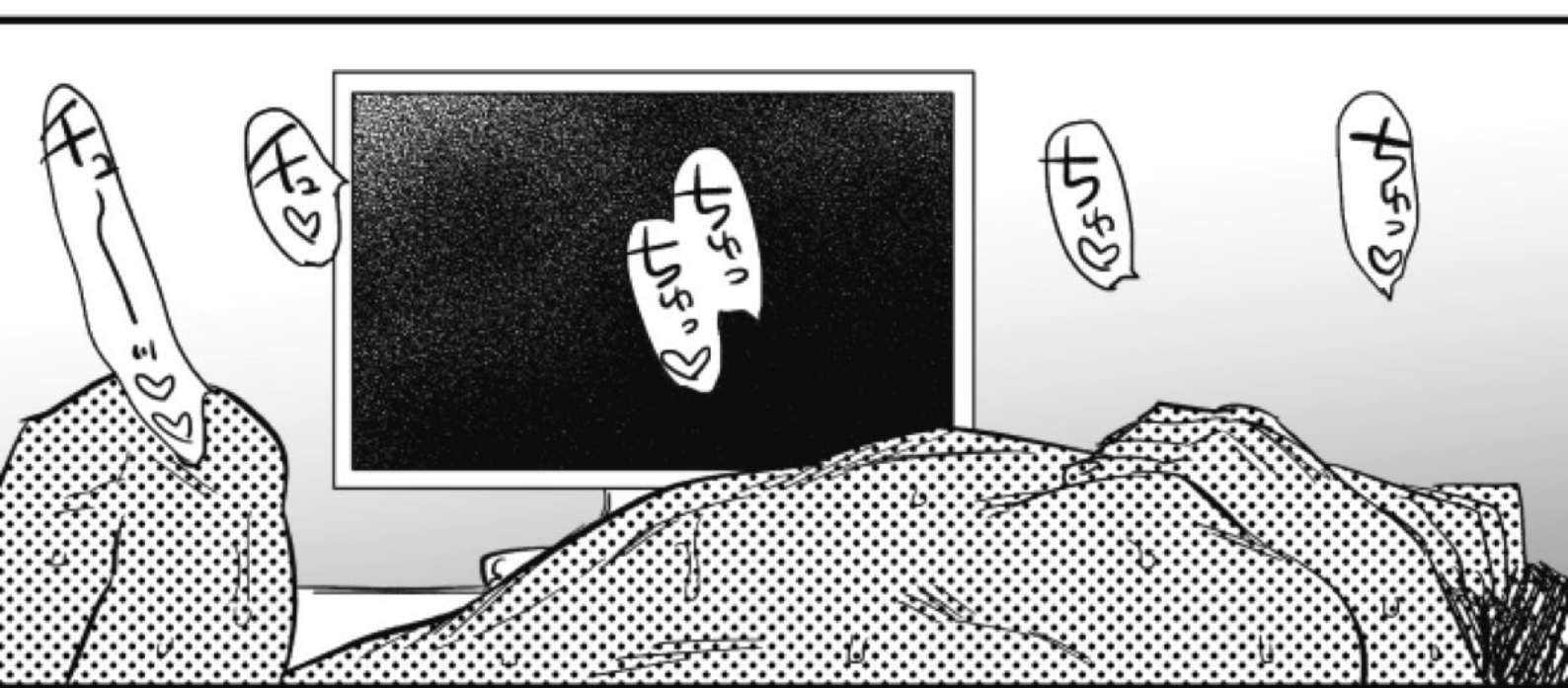
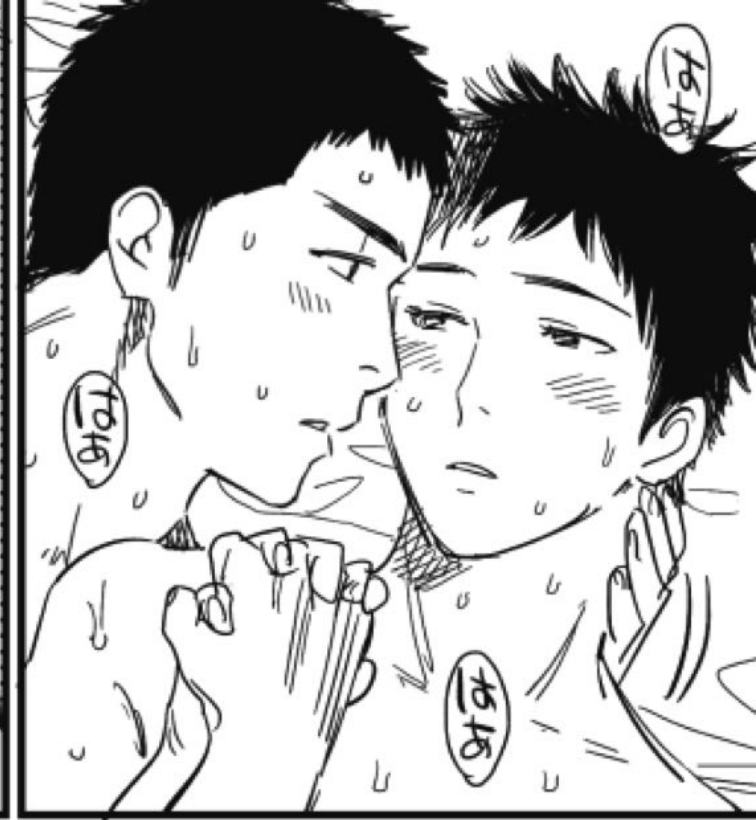
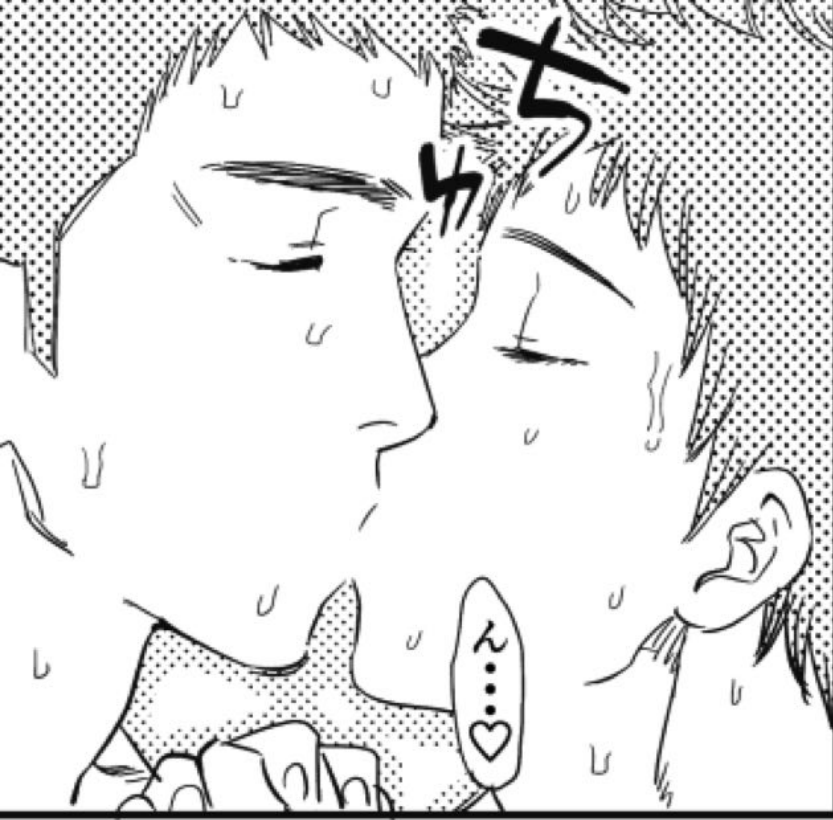
水樹...

み...ずき

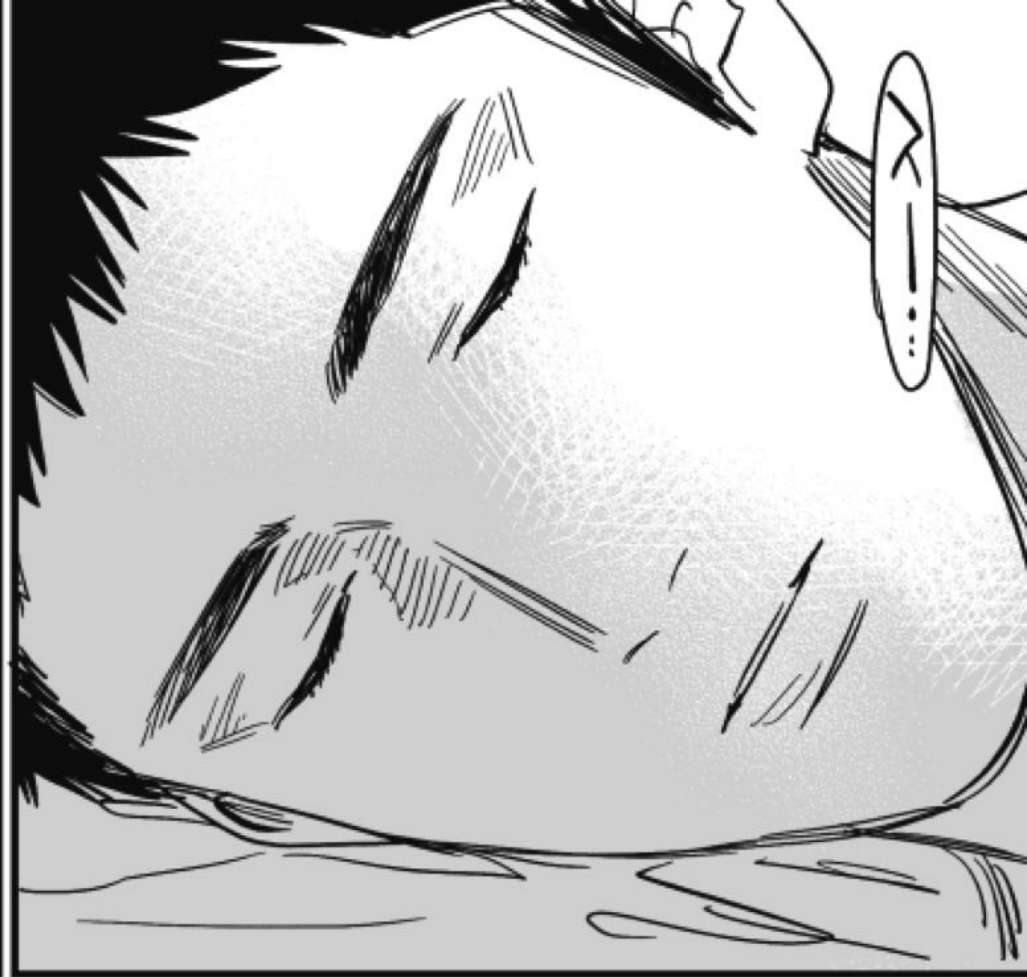
このおれ

...









その時は...



必ずまた
会いに来る

その時に
もし...



もしも

まだお前が...
俺のことを
好きでいてくれたら

もう絶対に
お前から
離れない

ずっと
一緒にいたい



ちゅ

お前は俺を
離さないで

俺はお前を
W杯に連れていくから

あれ……
なんだこれ

寝起きから
幸せすぎる……

終